



消防大学校だより

■ 新任消防長・学校長科 (第16・17期)

消防大学校では、新任消防長・学校長科第16期（平成26年4月14日から24日まで）及び第17期（平成26年5月13日から23日まで）を11日間の日程で実施しました。

当課程は、「一般行政職から消防長や消防学校長に任命された方」を対象に、消防組織の「長」として必要となる知識及び技術を習得させることを目的としております。

今年度においては、計67名（第16期22名、第17期45名）の新任消防長・学校長が研修に臨みました。

研修では、消防庁長官をはじめ、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、全国消防長会長による消防長としての役割を主題とした講話、各人が抱える課題についての討議、訓練礼式、そして危機管理広報等を通じて、組織のトップとしての職責を認識するとともに

に心構えについて学びました。

また、実科訓練では、東京消防庁教育支援隊による大隊訓練の見学を通じて、大隊長が火災現場で行う指揮と活動隊員の動きを理解するとともに、その後の指揮シミュレーション訓練では、実際に大隊長となって現場活動を指揮することにより、指揮者の状況判断と命令の難しさや指揮隊の重要性、現場活動への理解を深めました。

研修を終えた学生からは、「消防業務の重要性、トップとしての職責の重さについて、あらためて認識を深めることができ、充実した研修であった。」等の意見が寄せられました。

今後は、一般行政部門で培った幹部職員としての経験に加え、消防大学校で学んだ知識・技術を活かし、消防組織の長として、それぞれの地域において消防防災体制の発展に向けた、大いなる活躍が期待されます。



指揮シミュレーション訓練の様子（第16期）



東京消防庁教育支援隊による消防訓練の見学（第17期）

緊急消防援助隊教育科航空隊長コース(第13・14回)

消防大学校では、航空隊長コース13回（平成26年4月14日から4月25日まで）及び第14回（平成26年5月15日から5月28日まで）を約2週間の日程で実施しました。

本コースは、緊急消防援助隊の航空部隊の隊長等に対する教育を主眼として、航空隊の運用・活動統制、安全管理、広域応援、地上部隊との連携等を学び、その業務に必要な知識及び能力を修得させることを目的としています。

今年度においては、計63名（第13回23名、第14回40名）の消防防災航空隊の隊長及び副隊長が受講しました。

研修では、「航空法規」、「航空工学」などの基礎的知識をはじめ、消防庁幹部職員による「緊急災害対策に関する行政対応の現状と課題」や「消防広域応援の対応」の講義、自衛隊、海上保安庁及び警察による「航空運用」に関する講義のほか、自らが経験した活動事例について個々に発表し、討議及び研究を行う「災害活動事例研究」

や、東日本大震災で全国の航空隊から応援を受けた宮城県防災航空隊元隊長を講師に招き、受援対応とその実態について学びました。

また、校外研修として、陸上自衛隊木更津駐屯地や海上自衛隊館山航空基地で視察研修を行い、自衛隊が行う災害応援についてディスカッション形式で討議し、消防と自衛隊の航空救助活動に対する相互の認識を深めるとともに、自衛隊の航空装備について学びました。

研修を終えた学生からは、「全国の消防防災航空隊の方と貴重な情報交換や親睦を深めることができた。」「航空業務における各隊の共通する諸問題、航空指揮者としての課題等を十分に討議することができた。」「安全管理の重要性や緊急消防援助隊における受援体制が学べた。」等の意見が寄せられました。

今後は、消防大学校で修得した幅広い知識を糧にし、安全運航を第一に、機動力を活かした消防防災航空隊の充実強化と大いなる活躍が期待されます。



陸上自衛隊視察研修の様子



消防庁危機管理センターでの講義の様子

問い合わせ先

消防庁消防大学校 教務部
TEL: 0422-46-1712